

新美南吉のふるさと ウォーキングガイドマップ

彼岸花群生地(見頃 9月下旬～10月上旬) ★ 南吉ゆかりの地 カフェ 飲食店 ショッピング

童話『ごんぎつね』の 世界へようこそ！

童話『ごんぎつね』の作者、新美南吉のふるさと半田市岩滑(やなべ)。権現山のふもとに広がる水田地帯を矢勝川がゆったりと横切り、南吉が暮らしていた頃ののどかな景観を今も色濃く残しています。『ごんぎつね』ほか作品に登場するモデルスポットや南吉ゆかりの地もたくさんあり、南吉童話の世界を感じられるウォーキングエリアです。

毎年、彼岸花の開花期間は「ごんの秋まつり」を開催。
期間中は地域のおもてなしが各種行われます。

ごんの秋まつり 9/26(土)・10/4(日)
GON NO AKIMATSURI 2026 矢勝川堤・新美南吉記念館周辺

EVENT CALENDAR

▶ 9/26(土) 27(日) 10/3(土) 4(日)

街頭紙芝居屋さん

新美南吉記念館 屋外休憩所／南吉童話お話の会“でんでんむし”
自転車に乗せた昔ながらの街頭紙芝居で南吉童話をお楽しみください。10:30～12:00、13:30～15:00の各日2部予定。

▶ 10/1(木)～4(日)

ハナノヒカリプロジェクト

新美南吉記念館、矢勝川／ハナノヒカリプロジェクト2026実行委員会
彼岸花のライトアップ(18:00～20:30)をはじめ、灯りの演出で会場を彩ります。3日は新美南吉記念館で豊川市老舗松屋コラボの限定いなり販売やキッズダンス、ランタンワークショップをおこない、夜には矢勝川堤沿にてスカイランタンを開催。

▶ 10/4(日)

巨大キャンパスにごんぎつねの世界を描こう！

お休み処周辺／絵描き bimako

大きなキャンパスを使って、参加型のライブペイントを実施します。みんなでごんぎつねの世界を描いてみよう！

▶ 9/19(土)～10/4(日) クラシティ:9/19(土)～10/4(日)

みんなの南吉展

半田赤レンガ建物・クラシティ／みんなの南吉展実行委員会
今年で6回目、半田市内の児童発達支援施設や保育園の子どもたち、高校の美術部、アーティストが新美南吉童話の一場面を表現した作品の制作展示を行います。期間中はワークショップやさまざまな体験イベントも予定しています。9/26(土)には、クラシティ・半田赤レンガ建物の両会場にてイベント開催予定。

新美南吉記念館

新美南吉の記念文学館。館内には常設展示や図書閲覧室などが設けられ、南吉が残した童話や小説の自筆原稿や日記・手紙などの資料、「ごんぎつね」のジオラマなどをみることができます。
半田市岩滑西町1-10-1 TEL 0569-26-4888
9:30～17:30 月曜、第2火曜休館(祝日の場合は翌日休館)※ごんの秋まつり期間中は無休
観覧料 大人220円、中学生以下無料



<https://www.nankichi.gr.jp/index.html>

令和8年度特別展 蛍の夢～南吉を映す主人公たち

南吉作品のなかには、主人公のモデルが南吉自身ではないかと推定される作品があります。いくつかのあらすじをご紹介しますとともに、南吉が作品に込めたものを探ります。

2026年7月18日(土)～10月12日(月祝)
9:30～17:30
休館日 7/21、27、8/3、10、17、24、31、9/7、8、14
南吉記念館 展示室 常設展観覧料(220円・中学生以下無料)でご覧いただけます



南吉のふるさとに咲く 300万本の彼岸花

見頃
9月下旬～10月上旬

童話『ごんぎつね』の一節「ひがな花が赤い布(きれ)のようにさきついていた」という描写を再現しようと、地域の方が主体となって彼岸花の植栽をはじめました。活動は1990年にはじまり現在は約300万本の彼岸花群生に。きれいに咲かせるため、地域ボランティアが年間の維持管理をしています。

<https://www.handa-kankou.com/feature/higanbana/>



矢勝川堤の 田んぼアート

見頃
9～10月

矢勝川堤の遊歩道から眺める、水田に浮かび上がる巨大な田んぼアート。毎年、南吉のふるさとをテーマにした絵柄で設計。今年の絵柄は「ごん吉くん」です。

<https://www.handa-kankou.com/feature/tanbo-art/>



新美南吉記念館

ごんの秋まつり
ごんの秋まつり観光案内所
(新美南吉記念館車庫前)
9/26・27・10/3・4

フィールエクボ

農家レストラン
farm restaurant
黒牛の里

PATISSERIE
LA MIMOSA

パンのトラ

ファミリー
マート

柁町4丁目

岩滑小学校

南吉の母校で、代用教員を務めた学校。
子どもたちに『ごんぎつね』を語り聞かせました。

岩滑高山

ファミリー
マート

カジュアルフレンチ
Restaurant Lamitie

岩滑中町

洋菓子
シャンポール

彼岸花が咲く
『ごんぎつね』の
ワンシーンが
再現されています。
ごんぎつねと
六地藏

ごんの秋まつり
ごんの秋まつり
観光案内所
(新美南吉記念館車庫前)
9/26・27・10/3・4

新美南吉記念館

ごんの贈り物

「探清泉」碑

「牛をつないだ椿の木」

に登場する

「井戸新」石碑。

「手袋を
買いに」碑

天皇皇后両陛下下行幸啓記念碑

「デンデムシノカサミ」碑

上皇后美智子様が講演にて紹介された
ことでも知られる「でんでんむしのかなしみ」。

童話の森

権現草稿碑 碑の傍には「ヒサカキ」があります。

『ごんぎつね』に登場する「中山」の地

『ごんぎつね』冒頭で、かつて中山様という殿様が住むお城があったとされる「中山」の地が「童話の森」であり、隣接して新美南吉記念館が建てられました。童話の森では南吉作品に数多く登場するふるさと半田の風景、花、樹、虫たちに会えます。この地域の植生の多様性のある森を目指し、さまざまな活動が行われています。

<https://www.handa-kankou.com/feature/douwanomori/>



新美南吉ゆかりの地をめぐる旅



新美南吉の生家



ででむし広場

南吉ゆかりの観光スポットを紹介しています。
南吉生家のほか、当時の様子がわかる貴重な資料や、物語に登場する史跡などがたくさんあります。南吉の愛したふるさとの風景をぜひお楽しみください。

<https://www.handa-kankou.com/feature/nankichi-yukarinochi/>



ごんの秋まつり

★ 新美南吉生家

9:00～17:00開館、

ごんの秋まつり中無休、見学無料。

ごんの秋まつり観光案内所

(新美南吉生家前)

9/26・27・10/3・4

父渡辺多蔵の畳屋と

継母志んの下駄屋が

営まれていた生家。

常夜灯

カジュアルフレンチ

Restaurant Lamitie

岩滑中町

洋菓子

シャンポール

至河和